

ネイティブ豚ホスホリパーゼA2

Cat. No. NATE-0587

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ホスホリパーゼA2 (PLA2) は、双性イオン性グリセロホスホリピッドのβ-エステル結合を加水分解します。好まれる基質は、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、およびそれらのプラズマロゲン類似体です。ホスファチジルイノシトールとホスファチジルセリンも加水分解されます。PLA2は、完全な細胞の膜中のホスホリピッドに結合して積極的に攻撃します。PLA2は、ホスホリピッドのsn-2アシル結合を特異的に認識し、触媒的に結合を加水分解してアラキドン酸とリゾホスホリピッドを放出します。

別名 ホスホリパーゼA2; EC 3.1.1.4; 9001-84-7; レシチナーゼA; ホスファチダーゼ; ホスファチジオリパーゼ; ホスホリパーゼA; PLA2; ホスファチジルコリン2-アシルヒドロラーゼ; PLA2s

製品情報

種	豚の
由来	豚脾臓
形態	タイプI、硫酸アンモニウム懸濁液; 3.2 M (NH ₄) ₂ SO ₄ 溶液中の懸濁液、pH 5.5; タイプII、懸濁液、オフホワイト。
EC番号	EC 3.1.1.4
CAS登録番号	9001-84-7
活性	タイプI、> 600 ユニット/mg タンパク質。
代謝経路	アラキドン酸代謝、特定生物系; アラキドン酸代謝、保存された生物系; エーテル脂質代謝、特定生物系; エーテル脂質代謝、保存された生物系; 脂肪の消化と吸収、特定生物系; 脂肪の消化と吸収、保存された生物系; FcεR1シグナル伝達経路、特定生物系
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、37°Cで、1.0 μmoleの大豆L-α-ホスファチジルコリンをL-α-リゾホスファチジルコリンと脂肪酸に加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C